



加温ブランケット

認証番号 : 225AIBZX00047000

取扱説明書

はじめに

このたびは、ホットドッグ患者加温システムをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

この「取扱説明書」には、ホットドッグ患者加温システムを安全にお使いいただくための注意事項と使用方法などを記載しています。

- ・ホットドッグ患者加温システムをお使いになる前に、必ずこの「取扱説明書」およびコントローラー、加温マットレスの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しく安全な取扱方法をご理解ください。
- ・この「取扱説明書」はお読みになった後も、いつでも見られる場所に保管してください。
- ・お買い上げの製品は、改良などにより、この「取扱説明書」の内容と一部異なる場合があります。
- ・ご不明な点がありましたら、お買い上げの販売店までお問い合わせください。

加温ブランケットは、ホットドッグ患者加温システムのアクセサリです。本説明は次のカタログ番号に適用されます。

ホットドッグ-アクセサリ	カタログ番号	数/パッケージ	CE 0086
加温ブランケット、ハーフボディ	B103	1	
加温ブランケット、フルボディ	B104	1	
加温ブランケット、マルチポジション	B105	1	
加温ブランケット、トルソー	B110	1	

ホットドッグ用加温ブランケットケーブルは個別に提供されます。

使用方法

ホットドッグ患者加温システムは、患者を加温することで低体温の防止を目的としています。ホットドッグ患者加温システムは、患者が正常体温の状態を維持できない状況で使用されます。ホットドッグ患者加温システムは、手術室、リカバリー室、救急処置室や医療/外科病棟など主に病院などで使用されることを意図しています。

禁止

- ・ 大動脈クランプ中の末梢部分、または血管収縮剤による深刻な長期的血管収縮の可能性がある場合など局所虚血部位や非灌流部位を温めないでください。熱傷害のおそれがあります。
- ・ 経皮的治療を受けている患者さんにはホットドッグ患者加温システムを使用しないでください。薬が過剰に行き渡る危険があります。

警告

- ・ 爆発注意 – 可燃性の麻酔薬がある場所や、高圧室や酸素テントなど、高酸素濃度の環境では加温ブランケットを使用しないでください。
- ・ 加温ブランケットを患者さんの下に敷いて使用しないでください。加温ブランケットが破損・変形して、けがをするおそれがあります。

- 使用する前に傷、穴、電気の接続が悪いところなどの、破損や摩耗の兆候がないか点検してください。電装品のショートや漏電による感電・火災や製品の変形による動作の異常などによって、けがをするおそれがあります。破損や顕著な摩耗がある場合は、使用を中止し、販売店にお問い合わせください。
- 過熱表示や警報音がリセット後も鳴り続ける場合、ホットドッグ患者加温システムを継続使用しないでください。異常動作して、けがをするおそれがあります。
- 患者さんを手術台に固定する際に使用している抑制帯などの下に加温ブランケットを入れないでください。加温ブランケットが破損・変形して、けがをするおそれがあります。
- ホットドッグ用加温ブランケットは殺菌されていません。清潔さを保つため、お手入れを行ってください。お手入れを行わないと、感染のおそれがあります。
- WCSX 型のコントローラー以外のものと併用しないでください。異常動作して、けがをするおそれがあります。

使用上の注意

- 臨床医の直接の指示のもとで使用してください。思わぬけがをするおそれがあります。
- ホットドッグ患者加温システムを使用している間は、病院内の手順に従って常に患者さんのバイタルサインを監視してください。病状が悪化するおそれがあります。不安定なバイタルサインになった場合は、臨床医に連絡してください。
- 複数の加温方法を行う際は注意が必要です。症状が悪化するおそれがあります。
- 外科手術用プレップ液の貯留による皮膚への刺激のリスクは、温めることにより増加する可能性があります。外科手術用プレップ液の使用法に従うよう留意してください。
- 加温ブランケットは印字されたセンサーマークが患者さんの身体に触れるようにしてください。
- 使用中に加温ブランケットを折ったりしわにしたりしないでください。重なった部分に局所的な熱が滞留し、けがをするおそれがあります。
- 常に、患者保護具(使い捨てシーツや薄いベッドシーツなど)を患者さんと加温ブランケットの間に使用してください。熱傷のおそれがあります。
- X 線撮影の際には加温ブランケットの配置に注意してください。印字や内部の配線は基本的にブランケットの端に沿っており、画像に映り込む可能性があります。

取扱い説明

1. 加温ブランケットの表面に損傷(傷、穴、電気の接続不良など)がないかどうか点検してください。加温ブランケットに損傷がある場合は使用しないでください。
2. 薄いベッドシーツなどを患者さんの上にかけてください。
3. 加温ブランケットを患者保護具の上に乗せ、加温ブランケットの加温面(黒い側)が患者さんに向くようにしてください。ブランケットの加温部は非加温面に「加温エリア」の記号で示されています。(「記号の定義」の項をご参照ください。)

注意: 加温ブランケットを患者さんの下に置かないでください。また、使用中にはブランケットの加温(黒色)面を丸めたり折りたたんだりしないでください。

4. 加温ブランケットの温度センサー（白い箇所で示されています）が患者さんと正しく接触していることを確認してください。
5. 該当するブランケットの種類に対する下記の説明に従い、加温ブランケットの位置を決め、固定してください。効果的な位置に置くために、ブランケットの紫色面を折り返しても問題ありません。

ブランケット種類	ブランケットの位置/固定の説明
ハーフボディ フルボディ	<ul style="list-style-type: none"> • できる限り患者さんの周囲にブランケットの非加熱部分やシーツを挟み込んで加温ブランケットを固定してください。
マルチポジション	<ul style="list-style-type: none"> • 付属のマルチポジション再利用可能ストラップ、ベルクロストラップやテープで患者さんに加温ブランケットを固定してください。 • ブランケットのセグメントを、ブランケットのセグメントの内部についている各ボタンとループコネクターを使って接続してください。ボタンとループを一緒にし、2つのセクションを固定します。
トルソー	<ul style="list-style-type: none"> • ブランケットと患者さんの胸、腕、肩が正しく接触するよう患者さんの上の加温ブランケットの位置を決めてください。 • 患者さんの首と肩まわりに非加熱部分を挟み込んでください。

6. 電気ケーブルの片側をホットドッグ用コントローラーの適当なポートに差し込んでください。

コントローラの型番	ポート
WC5X	A または B

7. ケーブルの片側を加温ブランケット上の電気端子に挿入してください。
8. ホットドッグ用コントローラーの電源を入れ、温度を選び、加温を始めます。加温ブランケットが 23±2°Cから設定した温度になるまで 10 分未満です。加温ブランケットが選択した温度に 10 分以内に達さなかった場合、警報が鳴ります（ホットドッグ用コントローラーの取扱説明書をご参照ください。）
9. 加温ブランケット接続時にホットドッグ用コントローラーの警報が鳴った場合、警報が解除されるまで加温ブランケットの使用を中止してください。（「警報」の項をご参照ください。）
10. 加温ブランケットを使い終わった時には、加温ブランケットを必要に応じて清掃してください。（以下の「お手入れと保守」の項をご参照ください。）

お手入れと保守

- 加温ブランケットに表示された使用期限を超えて使用し続けしないで下さい。
- 洗濯や滅菌は加温ブランケットを損傷させるおそれがあるので行わないでください。
- 加温ブランケットを液体に浸さないでください。
- 加温ブランケットの清掃に強力な消毒液（例えば、グルタルアルデヒド、過酢酸、過酸化水素が含まれた液体）は使用しないでください。
- 接点部に洗浄液を吹きかけないでください。
- 取扱説明書で推奨されていない清掃や消毒液については販売店にお問い合わせください。
- 傷、穴、接触不良といった、破損や磨耗の兆候がある場合は、使用を中止し、販売店にお問い合わせください。
- 加温ブランケットを分解しないでください。サービス可能な部品はありません。もし修理が必要な場合、販売店にお問い合わせください。

保管

加温ブランケットは、乾燥した場所で、傷つけられる恐れのないところに保管してください。ブランケットは折りたたんで保管するか、ブランケットの端に沿って設けられている穴を使って吊り下げ金具にかけることもできます。

清掃—全体

加温ブランケットは、別の患者さんが使用する際、また汚れが目立つ時には、清掃してください。皮膚に接触するような非侵襲、非滅菌の医療機器のプロトコルに従ってください。同様の機器の例としては血圧測定カフ、診察台のカバー、手術台のパッドなどです。

アルコールはすぐに作用し、ブランケットに吹きつけたりそれで拭くことができるため、一般にはアルコールによる消毒が最も簡単です。他にブランケットの表面に適合する洗剤としては、次亜塩素酸ナトリウム(薄めた漂白剤)や、フェノール性殺菌洗剤、第4級アンモニウム洗剤があります。ヨウ素を含む洗剤は表面素材を色落ちさせるおそれがありますので、繰り返しの清掃には推奨しません。過酸化水素を含む洗剤は気化すると導電繊維を劣化させるため推奨しません。使用前にはしっかりと乾かしてください。

**注意:加圧滅菌器、滅菌器、自動洗浄消毒機や
その他の高温の機械の中に加温ブランケットを入れないでください。製品が損傷するおそれがあります。**

清掃と消毒の方法

以下の清掃方法は一般的なものであり、病院所定の手順に置き換わるものではありません。

























洗浄剤が電気端子に入らないようにしてください。

1. 目に見える汚れがある場合、消毒をする前に取り除いてください。やわらかいブラシかスポンジを用いて洗剤で目的の箇所を洗い、汚れを取り除きます。濡らした布を使い、ブランケットの表面の洗剤を落とします。ブランケットを液体に浸さないでください。
2. 中低水準の消毒液をブランケット全体に吹きつけるかそれで拭きます。消毒を確実にを行うため、消毒液の取扱い説明書に従ってください。
3. 使用前にしっかりと乾かしてください。

警報

アラーム発生時は、装置の電源を切り、コントローラーをリセットしてください。リセット後もアラームランプが点灯するときは、使用を中止し、そのシステムに関して販売店にお問い合わせください。表示されたエラーコードの具体的な情報に関しては、コントローラーの取扱説明書をご参照ください。

記号の意味

	患者さんの下に置かないでください		こちらの面が下		こちらの面が上
	注意、付属の文書を参照してください。		加温エリア		IEC60601-1 に従う BF 患者適用部品
	シリアル番号		参照番号		ロット番号
	製造日		ホットドッグ用コントローラーとのみ使用してください。		取扱説明書に従って保管してください。
	温度センサー		濡らさないでください。		European Medical Device Directive 93/42/EEC に適合しています。
	輸送と保管湿度範囲		輸送と保管温度範囲		販売店に連絡
	ラテックス不使用		無菌ではありません。		尖ったものが刺さらないよう保護してください。製品に傷や損傷がある場合、使用を中止してください。
	使用期限		製造業者		保護等級

製造元:

Augustine Temperature Management
 6581 City West Parkway
 Eden Prairie, MN 55344 USA
 電話 952.465.3500
 FAX 952.465.3501
www.hotdogwarming.com

HotDog は Augustine Temperature Management の商標で、米国特許商標庁に登録されています。特許出願中。

©2010 Augustine Temperature Management. 不許複製・禁無断転載。